



プロジェクト名称 【参加人数: 61 名】

「FACE TO FENCE」実現化計画

活動概要・目的 【活動期間: 2012 年 6 月 ~ 2013 年 4 月】

芝浦工業大学学生プロジェクト「FACE TO FENCE」実現化計画とは、大宮キャンパスの敷地境界フェンスに大学と近隣住民との交流を促す仕掛けをつくるプロジェクトです。昨年度からお絵描きフェンスプロジェクトの一環として、春岡小学校と芝浦工業大学のコラボレーションが実現しました。この活動は、小学校と地域の境界に目を向け、両者の調和と融合を図ることを目的とし、子供たちにテーマに沿って自由に絵を描いてもらい、子供たちとともにフェンスに設置することで交流を図るプロジェクトです。今年度は春岡小学校で経験した事を生かして、新たに春野小学校で活動を行いました。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
6/14	春野小学校顔合わせ	春野小学校	春野小学校イベント(8/27)に向けての打ち合わせ
6/18	春岡小学校の点検	春岡小学校	春岡小学校点検マニュアルの作成
6/20	大学補強材交換作業	芝浦工業大学	芝浦工業大学北門出入り口での補強材交換作業
7/02	春岡小学校点検委託	春岡小学校	春岡小学校点検マニュアルをお渡しし、春岡小学校側に点検委託
7/09	春野小学校スタディ	春野小学校	春野小学校でのお絵描きメッシュのスタディ
7/11	春野小学校事前準備	春野小学校	当日スケジュール、人員配置の検討
7/13	仮設置のお知らせ	春野小学校	お絵描きメッシュの仮設置のお知らせ
8/13	メッシュ加工作業	芝浦工業大学	春野小学校イベント(8/27)に向けて事前準備
8/20	メッシュ加工追加作業	芝浦工業大学	8/13に行われた事前準備の追加作業
8/26	前日準備	春野小学校	春野小学校イベント(8/27)に向けて前日準備
8/27	春野小学校イベント	春野小学校	春野小学校イベント当日
8/28	乾燥状態チェック	春野小学校	お絵描きメッシュの乾燥状態のチェック



年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
9/08	お絵描き設置	春野小学校	春野小学校で行われたお絵描きメッシュの設置
9/22	点検表の作成	芝浦工業大学	プロジェクト班による点検表の作成
9/24	案内看板設置	春野小学校	春野小学校で行われたお絵描きメッシュのお知らせを伝える看板設置
9/25	取材	芝浦工業大学	日刊建設工業新聞社の取材
10/03	春岡小学校補修作業	春岡小学校	春岡小学校において補修作業
10/12	大宮資材置き場作業	大宮駅東口	春野小学校イベントで使用した材料の整理・整頓
10/28	まちづくり交流展 打ち合わせ	志木	まちづくり交流展(11/10)に向けての打ち合わせ
11/02	春野小学校メッシュ 補修作業	春野小学校	春野小学校でのメッシュ補修作業
11/08	事前準備	芝浦工業大学	まちづくり交流展(11/10)に向けての事前準備
11/10	まちづくり交流展	志木	まちづくり交流展当日、日刊建設通信新聞社取材
12/10	来年度方針会議	芝浦工業大学	来年度に向けての方針会議
12/13	春野小学校補修作業	春野小学校	春野小学校での補修作業
12/17	関係各所へのご挨拶	春岡小学校 春野小学校	プロジェクトとしてのご挨拶と管理・修復に関して
2/16	春岡小学校補修作業	春岡小学校	春岡小学校において点検・修繕作業
3/01	春岡小学校レクチャー	春岡小学校	代表のご挨拶と今後の点検方法
※常時	点検 HPの更新作業	芝浦工業大学 春岡小学校 春野小学校	芝浦工業大学・春岡小学校・春野小学校の点検 「FACE TO FENCE」実現化計画 HPの更新作業



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

2011年度から見沼区に活動範囲を広げて、今年度は春野小学校とお絵描きプロジェクトを行いました。参加者の皆様から「素敵な思い出が出来た」「大学生との交流が楽しかった」などといった暖かいお言葉を頂く事ができました。また、「地元の人たちからも評判が良い」と小学校の方々からお話を頂き、プロジェクトとして成功を収める事ができました。イベント後、この活動が評価され、9月25日に日刊工業建設新聞社の取材、11月10日に日刊建設通信新聞社の取材を受け、それぞれ建設新聞に掲載(※写真:4ページ目左右下)されました。

年末最後の活動として、まちづくり交流展というイベントがあり、私たちの活動を展示する機会を頂きました。この交流展では埼玉県内の住まい・まちづくりに関わる団体が年に一度集まり、日頃の活動成果の発表や交流が行われました。各NPO団体と建築学会埼玉支所が主催するこの交流展に参加することで、学外にも本プロジェクトを積極的にアピールできました。今年度のイベントでは多くの貴重なご意見を聞けたので今後の活動に生かしていきたいと思えます。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

日刊工業建設新聞社取材【9月25日】、日刊建設通信新聞社取材【11月10日】
S.I.T.BULLETIN Online【3月号掲載】

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

■目標

今年度は春野小学校とのイベントを無事終えることができ、お互いの意見を尊重し合える関係を築くことが出来ました。今後は私たち「FACE TO FENCE」実現化計画が行っている点検メンテナンスに関しても、小学校の方々に委託し手伝って頂くことで、お互いの意思疎通を図りながら子供たちが描いたお絵描きメッシュの維持管理に努めていきたいと思えます。

■今後について

私たちの団体は6年間活動していて、常に地域の人たちが愛着をもてるお絵描きを設置していきたいと考えています。そのために、私たちは点検メンテナンスを定期的に行い、子供たちのお絵描きを残さなくてはならないと思えます。そして、子供たちがお絵描きを楽しめるように今後も活動を手掛けていきたいです。これからは、この活動をより広域に広げることができるよう、常に人と人との関わり、「地域と大学」や「地域と小学校」といった関わりを断絶される場所(フェンス)に目を向けて解決していきたいと考えています。また、本プロジェクトの活動に限らず大学と小学校でコラボレーション企画や企業・団体とコラボレーションを行っていきたいと思えます。

◇自立への具体的な計画に関して

大学側からの課題でもあるため、協力・協賛していただける企業・団体に対して積極的に声をかけていきます。今回、関わりを持つことができた、さいたま土曜チャレンジスクール推進事業にお声をかけたいと考えています。また、さいたま市役所、芝浦工業大学生涯学習センターなどに足を運び、お話を伺いに行きたいと思えます。

◇設置されているお絵描きメッシュに関して

大学に設置されているメッシュに関しては、継続して点検を行います。小学校に設置されているメッシュに関しては、春岡小学校・春野小学校に点検マニュアルをお渡しし、大きな破損の対処に困る際に連絡を頂き修繕作業を行います。



プロジェクト活動写真

■ 成果



イベント後：春野小学校写真【8月27日】



設置後：春野小学校写真【9月08日】



大宮キャンパスの「お絵描き」前、(左から渡辺さん、豊田さん、渡部さん)



春野小のイベントで集合写真



描いた絵をフェンスに飾る

芝浦工業大学の学生プロジェクト「FACE TO FENCE」実現化計画は、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちが描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。06年から始まった活動は6年が経過。大宮キャンパス（さいたま市見沼区）を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して町の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん（大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程2年）は、「机の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。（編集部・岩本英司）

芝浦工業大学 「FACE TO FENCE」

「FACE TO FENCE」は、芝浦工業大学の学生プロジェクト。大宮キャンパスと周辺の住宅街を隔てるフェンスに、子どもたちが描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。06年から始まった活動は6年が経過。大宮キャンパス（さいたま市見沼区）を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して町の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん（大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程2年）は、「机の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。（編集部・岩本英司）

「子どもたちの絵でフェンスを交流拠点に」

芝浦工業大学の学生プロジェクト「FACE TO FENCE」は、大宮キャンパスと周辺の住宅街を隔てるフェンスに、子どもたちが描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。06年から始まった活動は6年が経過。大宮キャンパス（さいたま市見沼区）を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して町の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん（大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程2年）は、「机の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。（編集部・岩本英司）

日刊建設工業新聞取材記事【9月25日】

イルミネーションで新たな回遊創出

芝浦工業大学システム理工学部（さいたま市沼区）の学生が、地域社会でまちづくりを実現するための取り組みとして、イルミネーション・モーション「FACE」活動を展開している。東口で隣街の新たな回遊性を生み出す「街イルミネーション」が地域社会でまちづくりを実現するための取り組みとして、イルミネーション・モーション「FACE」活動を展開している。東口で隣街の新たな回遊性を生み出す「街イルミネーション」が地域社会でまちづくりを実現するための取り組みとして、イルミネーション・モーション「FACE」活動を展開している。

芝浦工大 学生が地域まちづくり実践

「FACE TO FENCE」は、大宮キャンパスと周辺の住宅街を隔てるフェンスに、子どもたちが描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。06年から始まった活動は6年が経過。大宮キャンパス（さいたま市見沼区）を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して町の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん（大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程2年）は、「机の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。（編集部・岩本英司）

日刊建設通信新聞取材記事【11月10日】

プロジェクト活動写真

■今年度の活動



職員とPTAの方々と一緒に進めるプロジェクト



イベントに向けての事前準備



常時行われる点検作業



イベントに向けての仮設置作業



イベント当日



イベント中の様子



イベント後の乾燥状態のチェック



お絵描き設置①



お絵描き設置②



設置後：春野小学校写真



まちづくり交流展において日頃の活動成果の発表や交流



小学校の先生方と行う修繕作業